

Ⅲ 松くい虫防除事業に関する調査

(実施期間:昭和52年度～ 予算区分:県単 担当:衣笠尚義)

1 目的

県内で実施されている当該事業に関連して、防除(薬剤予防散布)適期を検討するための情報を提供することを目的とし、マツノマダラカミキリの脱出時期を調査する。

2 実施概要

令和4年11～12月に鳥取市賀露町などで当年夏～秋に枯死したクロマツを伐採し、1.6m程度の丸太に玉切りして林業試験場構内(標高:30m、100m)と八頭町才代地内(標高:300m)の網室に搬入し(写真)、令和5年5月22日から8月10日まで丸太から羽化脱出したマツノマダラカミキリ成虫数を調査した。その脱出した成虫数から5%、50%、95%脱出日を推定した。



写真 林業試験場構内(標高30m)の網室

3 結果

令和5年度のマツノマダラカミキリの脱出推定時期を表に示す。脱出推定日は概ね平年並み又は平年より2～3日遅かった。

表 林業試験場構内と八頭町才代におけるマツノマダラカミキリの脱出推定日

羽化脱出状況	標高 30m	標高 100m	標高 300m
5%脱出日	6月2日(±0)	6月8日(-1)	6月8日(-1)
50%脱出日	6月22日(+2)	6月26日(-2)	6月29日(+1)
95%脱出日	7月12日(+3)	7月14日(-1)	7月20日(+3)

※()は平年値(2001～2023年の平均値)との差。